

県政だより
アワーとくしま

OUR
徳島

令和3年 12月号
No.416

昭和南海地震から75年

事前復興

未来のために、今からできること。

平成23年3月
東日本大震災
被災直後の姿



岩手県釜石市両石地区の高台移転 (出典：復興庁HP)

令和2年3月
復興後の姿



切迫する 南海トラフ巨大地震

昭和南海地震は、75年前の12月21日に発生しました。そして、今後30年以内に南海トラフ地震が発生する確率は70%から80%と予測されています。大切な命を守るには、自ら守る自助、地域で助け合う共助、行政の役割としての公助、これらが一体となった取組みが求められています。

全国モデルとなる 「事前復興」を推進

東日本大震災の教訓から、被災後はその直接的な被害の復旧だけではなく、復興に多大な費用や労力、そして時間が必要です。復興が遅れると人口流出やコミュニティの崩壊による地域の衰退が懸念され、被災前から被災後を見据えた準備・実践を進める「事前復興」の取組みが重要です。徳島県では、令和元年12月、全国に先駆け、「徳島県復興指針」を策定するとともに、県立海部病院の高台移転をはじめとする具体的な取組みを進めています。



(出典：徳島地方気象台HP)

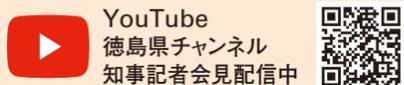
昭和南海地震

昭和東南海地震(1944年)から2年後の1946年12月21日に和歌山県南方沖を震源として発生しました。徳島県においても死者・行方不明者が202人にのぼる大きな被害をもたらしました。

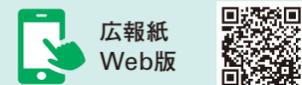
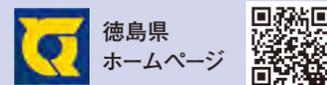
被災前から「住まいや暮らしの再建」「産業・経済の復興」など
被災後のまちづくりを見据え、できることから考えてみよう。



AI/TOKUSHIMA



●徳島県メールマガジンとくめる <https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/koho/tokumeru> ●もっと!OUR徳島+ <https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/koho/2013042200169>
●点字版広報紙や声の広報をご希望の方は、視聴覚障がい者支援センターへ TEL088-631-1400 FAX088-631-1500 ●県内ケーブルテレビで県広報番組を放送しています。



徳島は宣言する
VS東京